



見る
聞く
さがす
夢がある

日立市民の
生涯学習

百年塾ひるば

第28号 発行日/1996.6.20
発行/ひたち生き生き百年塾推進本部
編集/百年塾 広報部
事務局/生涯学習室 ☎0294-22-3111
〒317 日立市助川町1-1-1

ことしのテーマ

出あいを創るまち

見る・聞く・さがす・夢がある、を合言葉に市民手づくりの百年塾運動を進めてきました。この百年塾は単なるゼミや講演会での知識、技術などの習得にとどまることなく、それらを活かして、住みよいまちづくりが行なわれることを目指すものです。今年のテーマは「出あいを創るまち」です。子どもからお年寄りまで多くの人たちが楽しく集い、学び、語り合い様々な新しい「出あい」の場や機会を創っていきます。そして、①きれいなまち、②学校が楽しいまち、③若者が燃えるまち、④人になさしいまち、⑤楽しいまち、⑥国際的なまち、⑦市民と企業が共生するまちの7つの分野の活動をさらに進めていきます。

楽しい講座がいっぱい

北部地区の市民教授がこれまでの「おもしろゼミ」の経験を活かして田尻コミュニティセンターで遊楽フェスタを行います。30種類の体験を披露しようと現在準備中です。楽しい展示、講座、実演などと同時に、参加者も一緒に楽しめる指導の時間も設けています。

【展示】13日 14日

内 容	市民教授
七宝焼	行田 綾子
和紙ちぎり絵	舟生よし子
おもてなし	田尻 政光
書道	月沢 弥生 豊田 ハマ 伊東公道子
ペン習字	小椋正一郎
洋画	猿田 洋 山口 秀男
陶芸	小萱 春樹
獅子頭	鈴木 功
豆帯	永山 幸子
リボンフラワー	神山美知子
フラワーデザイン	中島加奈恵
パンフラワー	好永 勝江
道	鈴木 絹代 土岐 京子
和裁	大沢 正子 榊 李耶子
組み紐	高野 輝子 鮫川 京子

北部地区市民教授ネットワーク ◆とき 7/13(土)~14(日) ◆ところ 田尻コミュニティセンター

遊楽フェスタの案内状

市民教授からメッセージ

会場に足を運ばれることによってあなたの隠された能力が目覚めるかもしれません。興味をもたれるものが見つかるかもしれません。生涯に

わたっているいろいろなことに興味を持ち、学び続けることの楽しさを私たちがからくみ取ってください。
みなさんの心の琴線にふれるものが一つは提供できるのではないかとひそかに思っています。

【実演・指導】

日 時	内 容	市民教授	参加費・持ち物
13日、14日	茶 道	小沢美奈子	200円
14日10時~11時30分	ゆかたを自分で着てみよう	高野 輝子	ゆかた、反巾着、小物を お持ちください
13時~14時30分	クッキー・ゼリーづくり	鮫川 京子	小卒3年生以上先着20名
14日10時30分~11時30分		谷口 充江	
13時30分~14時30分		石川 博美	100円
13日13時~14時	パッチづくり	根本 裕美	30円
14時30分~15時30分			
13日12時~16時	住宅相談コーナー	羽根坂広和	
14日10時~15時	「住宅プランニングをする前に」		



【喫茶コーナー】13日、14日
手作りクッキー&コーヒー 200円
手作りクッキー&抹茶 100円

【講座】会議室(1階)

日 時	内 容	市民教授
13日13時~14時	昔 話	海野 賢治
14時~15時	しょうじづくり	蛭田 三雄
14日10時~15時	囲 碁	山口秀男 先崎成章 大塚 洋 伊藤正夫

【実習・販売】手打ちうどん 300円/1斤 特

日 時	市民教授
13日12時~(販売)	蛭田三雄 田尻政光
14日11時~13時(実習)	内藤達郎 清水啓志
11時30分~(販売)	村田清 小野トミ子 大高重徳 永山茂樹 伊藤正夫

広がってます 子どもたちのまちづくり

日立市社会福祉協議会は、子どものうちから福祉へ関心をもち、ボランティア活動とおし社会の連帯意識を養うため、平成2年から福祉教育推進指定校をスタートさせました。平成7年度は小学校20校、中学校1校を指定し、いろいろな事業を行ってきました。各学校では福祉施設の訪問、お年寄りの運動会招待、3世代交流等行なっています。成沢小学校では、福祉少年団員が

全児童の手作りしおりを高齢者にプレゼント。クロッカー大会や手作り



会瀬小学校の車イス体験

うどんでの交流を行なっています。手作りけんちんうどんを食べ、絵画、書道の鑑賞や、手話の体験学習をしている中小路小学校。暑中見舞、年賀状などでお年寄り



中小路小学校の手話教室

出あいで感動体験を

百年塾推進部長
日立市長 飯山 利雄



「出あいを創るまち」というと、私たちが何か際立って特別なことをするような印象を持ちがちですが、決してそうではありません。「出あい」は、日常茶飯、どなたの前にも現れ、体験しているものなのです。ただ、「それが出あいである」ことに気がつかないのです。

人と人との出あいが最もドラマチックですが、これだけに限りません。美しい絵や楽しい音楽との出あい、自分の眼をひらかされる本や言葉の出あい、事件や異文化との出あい、そして見知らぬ旅先での心ゆすぶられる風景や人情、食べ物との出あいなど、どなたも体験ずみのことでありましょう。

問題は、単に物理的に接触するだけでは、ここである「出あい」にはならないということです。心の核で感じ、発覚し、自分のものにならなければ、「出あい」になりません。先ずは、「出あい」のもつ新鮮さ、新しさに感動するという。その中で自分や仲間を意識し、その存在感や生きがいを深めて行く切り口としていくのです。

即ち、私にいわせれば「出あいを創る」ことは、「感動を創る」ことです。それが「自分を創り、仲間や地域を創る」ことにつながり、それぞれの人生をいっばい生き抜くための「生きがいを創る」ことに結びついていくと思うのです。「生涯学習で結ばれる共生・響生社会づくり」をめざし、お互いに「出あい」を大切にし、個性的で、広がりのある感動体験を深めていきたいものです。

と文通、昔の遊びで仲よしふれあいを行なっている大みか小学校。田尻小学校では、独居老人とプレゼントや手紙で交流、敬老の日にはメッセージ入り短冊を贈っています。住みよいまちづくりへの関心を高めるために、学校周辺の美化や海岸の清掃をしている豊浦小学校など福祉教育は確実に広がっています。こうして、同じ時間、同じ場所で同じ事を体験することによって、出あいとふれあいによるやさしいまちづくりが進むのではないのでしょうか。

広報コンプレックスをなくそう —広報研修会—

広報活動に対する苦手意識をなくし、より良い紙面づくりができるように、「広報マン全員集合」の研修会が6月1日(土)中小企業福祉センターで開かれました。この研修会は今年1月に行ったところ大変好評で「再度実施を」の要望に応えた

もの。講師には百年塾市民教授の古川稔さんがあたり、6月1日がPTA、15日には地域・企業・各種団体と、参加対象を変えてさらに内容の充実した研修となりました。



真剣に聞く広報マンたち

この日の参加者の多くは、4月にPTAの広報担当になったばかりの人たちで、今まさに第1号の企画を思案中。この研修からひとつでも多くの情報やアイデアを得ようと真剣な面持ちで聞き入っていました。

前半の基礎知識編で古川さんは、学校における広報紙の役割と広



これ 今度の記事に使いそう

報担当のあり方にもふれ、PTAの広報が学校の情報提供のみならず問題提起や意識高揚の発信源となるように。またそのために広報担当者は学校中の情報を把握することや、広く公正な見識をもったの紙面づくりをする必要性を強調。広報担当者がいかに重要な立場であるかの認識を促しました。

後半の実技編では、広報紙を発行するまでの過程を手順を追って説明。中でもOHP(資料図をスクリーン映し出し機器)を使い、各学校が発行した広報紙のいくつかをサンプルに赤ペンを入れた説明が好評で、熱心にメモを取る姿が見受けられました。終了後、参加した人々から「初心者向きでタイムリー。赤ペンの添削は恥もかくけど良い勉強になる。自分の学校の広報紙もぜひ批評して。」などの声がたくさん寄せられました。

今後、サロンを窓口に古川さんの通信添削も受け付け、広報担当の人たちとの輪をより一層広めたいと考えています。

※研修会 日立市 1-21-1 光センターB-F1

SOS

気軽に使える施設がない

公民館やコミュニティセンターなどでさまざまな活動がされていますが、施設がなくて困っている地域があります。

例えば、平沢地区腰の塚9世帯では子どもたちやお年寄りが気軽に利用できる場所がなく、個人の住宅や遠く離れた施設の利用を余儀なくされています。地域の人たちが話し合いをしましたがなかなか解決しません。

今後、ますます高齢化が進めば、もっと身近なところで常に活動できる施設が必要になってきます。

学校の余裕教室、企業の施設、あるいは個人が所有されているものでも借用できるものはありませんか。(SOS生)

います。

子どもの学校から送られるプリントくらいは読めるようにしたい。職場での話しがわかりにくいので勉強したい。心の中で表現できるようにしたいとみんなの心。

会員が持ち寄ったお茶とお菓子でのティータイムは、日本語がわからないためにおきるトラブルや悩みを聞いてあげる機会にもなっています。

あなたの国のことばで話したい

日立市に在住の外国人と、地域や団体がさまざまな事業を通して交流し、お互いの国の文化や習慣を学びあっています。

今回は日本語と中国語をテーマに楽しい出会いを創っている2つの団体を訪ねました。

この講座を通して、同じ地域に住みながら、知りあうことがなかった人たちの新しい出会いの場になっています。

応援します
学校のプリントを読みたい!

料理で覚える中国語

鳩山学区住みよいまちをつくる会の生涯楽集部の企画で、中国からの留学生、陳 浦栄さんを講師に月2回



これって、語学講座?

の楽しい中国語講座が始まり、たくさんの人が参加しています。

ただ単に中国語を学ぶだけでなく、ビデオで中国の文化や習慣を学んだり、中国料理をつくりながら言葉も覚えられるようにするなど楽しいプログラムになっています。卒業旅行は中国へと夢もふくらんでいるとか。

日立市内の企業に勤めている外国人を対象に、夜間開講している「茨城アジアの日本語教室」には、スリランカ、中国、ブラジルの人など約30人が通っています。

教えているのは茨城アジア教育基金を支える会の会員たち。視聴覚センターで月3回開講。進み具合によって初級から上級まで、いくつもの少人数クラスを編成しています。教科書のほかに、新聞の折り込み広告で作った絵カードや、現物を利用するなど教材や教え方にも工夫をして



まずは先生のマネをして

3人の女性部会長誕生

5月8日、シビックセンターで平成8年度百年塾の総会が行なわれました。

事業報告は、ビデオ班が1年間かけて収録したものが発表されました。事業計画では広報啓発、推進委員の研修、新情報システムの研究、市民教授の活用、学校教育での百年塾、企業の社会貢献などが提案され、百年塾全体のテーマは「出会いを創るまち」と決まりました。

また、組織では生涯学習室が課と改称され、「働く女性によるワーキングチーム」と「熟年研究会」が企業部に位置付けられました。

役員も新しい2名の副本部長と、3名の女性部会長が誕生した8年度の船出となりました。



平成8年度のスタート

講座案内

歌謡会 (カラオケ)

場所・日時
大沼集会所 毎月第1日曜日 午前10時~12時
白銀町集会所 第3日曜日 午前10時~12時
日高公民館 第4日曜日 午前10時~12時
豊浦公民館 第3木曜日 午後7時~9時

会費 月500円
講師 小泉 守 (市民教授)
連絡 菊池 ☎21-5615
その他 指定以外にグループにて希望のある方は相談に応じます。

なでしこ会 (社交ダンス)

日時 毎月4回 木曜日 午後7時~9時
場所 東多賀・河原子コミュニティセンター
会費 月1,000円 対象 男女各10人
連絡 山口 ☎36-2698

百年塾 少林寺拳法教室

日時 6月23日(日) 午前10時~12時
場所 多賀武道館 参加費 無料
対象 小学4年生以上 20名
申し込み 6/22(土)まで
連絡 ☎38-5036 ☎43-4460
その他 傷害保険等に加入すること 運動着を持参すること

女性のための人間関係講座

講師 中井喜美子 (市民教授)
日時 6/26~11/27 (この間9回)
午後9時30分~12時
場所 日高公民館
会費 24,000円 (9回分) 21時間分
ワークブックと教科書代別
連絡 小辻 ☎36-7651
和田 ☎36-5738

日本大正琴協会 春乃会

チャリティ演奏会
日時 6月23日(日)
13:00 開演 (12:30会場)
場所 日立市民会館
入場料 1,000円 (全席自由)
出演 照沼 安志 (市民教授)
*その他市民教授が多数出演
今回のチャリティは出演団体各市町村の高齢福祉に役立てます。

「いじめ問題」を考える 地域フォーラム

◆とき 7月19日(金) 午後1時30分から
◆ところ 会瀬小学校体育館